

## 2月13日(木曜日) 5年・6年 ネット・スマホの学習

2月13日(木)に、5年生6年生が、ネット・スマホの正しい使い方について学習しました。講師は、NPOナリス(なら情報セキュリティ総合研究所)帝塚山大学経済経営学部日置慎治先生です。「ネット・スマホ たのしい けれど、きけんです」という演題で、子どもたちに分かりやすく話されました。

ネットの被害で最も多いのは、自画撮り被害であることを最初に示していただいた後に、ネットのモラルについて5つ話をしていただきました。

① ネットで知り合う悪い大人がいる。

② スマホは依存症になりやすい。

使うほど脳は壊れる。使用時間は少ない方がよい。

スマホの使用時間が長いと、学習しても思うように成績が伸びない。

③ ネットで思ったことをついいてしまう。

いじめにつながる。小中高生の自殺の増加。

④ デジタルタトゥー

ネットに投稿したら一生責任がつきまとう。UPLしない。

⑤ 連絡先を盗むアプリがある。

すぐにアプリを入れない。入れる前に、ちょっと待って調べる。

その他

※使用については、家庭で話し合っ決めて決まりを作って守る。

※フィルタリングをかける。※SNSには、年齢制限がある。

子どもたちは、自分たちにとって、とても大切な話なので、真剣に聴いていました。ネットやスマホとうまく付き合いながら、生活を過ごすことを、これからもしっかりと考えていかなくてはいけないと思います。



↑ スマホを小6から毎日4時間私用している脳と使用していない脳との比較

脳の神経が発達しないので覚えることができない

